

コンサートレポート

シニアアンサンブル茨城県連盟4楽団交歓演奏会

茨城県の6楽団は2年前に県連盟を発足させ、各々が定演などで積極的に観賞に行ったり、場内整理をして助け合っています。

全シ連の全国大会への参加は会場まで少し距離があることや合同演奏が多いことなどで、各団の全団員が他の楽団と交歓演奏する機会がありませんでした。又、お互いに仲よく観賞し合ったり合奏したりする機会もありませんでした。これ等のことから今回の交歓演奏会が開かれました。

参加したのはつくば、取手、牛久、石岡の4楽団でした。幸い各団から殆どどの団員が参加、楽しい3時間を過ごしました。最初に各団の持ち時間15分間の演奏。続いて菅先生の指揮で参加者全員による合奏（ビリーブと花は咲くの2曲）、その後、お菓子とお茶の時間の歓談（各楽団紹介など）とび入りで全員



が手をつなぎ輪になってフォークダンスが始まりました。

会の終了には牧野英一先生の指揮で「早春賦、今日の日はさようなら」の2曲を合唱してお開きになりました。連盟としては、今後2年に1回程度、このように交歓演奏会を催したいとおもいます。

今回、幹事役は取手SEでしたが皆さん大変、すばらしい手際で運営を進めて下さいました。お疲れ様でした。 取手SE宮崎 正

我孫子シニアアンサンブル第8回定期演奏会

去る5月18日、JR我孫子駅前のけやきプラザで第8回定演が催され4年ぶりに伺った。当団は西暦2000年8月に千葉県で初めてのシニアアンサンブルとして発足し約19年、私も最初の10年間在籍した懐かしい楽団である。指揮者も3回代わり、定演も第4回の定演の翌日が東日本大震災という大変な災難をまねがれたというエピソードがある。



開場15分前に入ったが500名収容の場内が既に満席、来賓席によく着席。

成島先生の手なれた棒で第1部のクラシックと映画音楽が始まる。クラシックでは「田園」と「威風堂々」など他楽団が苦勞する曲をVnとFlとの美しい高音で充分に楽しめた。映画音楽では「虹の彼方」のボーカル（助川恵子さん）にしばれた。皆で歌いましょうも「エーデルワイス」や「あの丘を超えて」など選曲がよく会場が盛り上がった。

第2部は服装もグッと晴れや

かになり、特に「マイアミビーチルンバ」と「コーヒールンバ」は5人のラテンパーカッションがステージの前に並んで民族衣装で熱演し会場も大いに沸いた。最後のビートルズメドレーは第1回定演で苦勞して演奏した曲だが、さすがに16ビートをうまく演奏し切った。この団も5～6年前には団員の減少に悩んでいたが最近演奏力の向上と共に団員も増える傾向でご同慶の至りである。すばらしい演奏ありがとうございました。 全シ連 岡村